

1 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感情を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

2 第2学年及び第3学年の目標

- (1)音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
- (2)多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
- (3)多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

3 第2学年及び第3学年の評価の観点の趣旨

- (1) 音楽への関心・意欲・態度

音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽に対する関心を高め、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。

- (2) 音楽表現の創意工夫

音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、ふさわしい音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。

- (3) 音楽表現の技能

創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を伸ばし、歌唱、器楽、創作で表している。

- (4) 鑑賞の能力

音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、多様な音楽に対する理解を深め、味わって聴いている。

4 評価(評価の観点、評価の資料・場面・評価方法)

評価の観点	評価の場面・評価方法
(1) 音楽への関心・意欲・態度	・授業態度（観察） ・定期考査 ・関心意欲プリント 歌テストより意欲 など
(2) 音楽表現の創意工夫	・学習プリント ・練習の様子（観察） ・定期考査より創意工夫 など
(3) 音楽表現の技能	・発表演奏や実技テスト（歌・楽器） ・練習の様子（観察） など
(4) 鑑賞の能力	・授業態度（観察） ・定期考査 ・学習プリント、感受学習プリントなど

音楽科指導評価計画案 第2学年〈2・3上〉

月	題材名	題材のねらい	指導事項	教材名 (●…鑑賞教材 ◎…器楽教材)	学習の目標（教科書掲載）	時数 目安	評価規準例と方法【】
4	曲想の変化の理解 と表現の工夫	・前半と後半でリズムや音の重なり方が変化する ことによって、曲想の変化が生まれている ことを感じ取る。	歌唱—ア・ウ	大切なもの	曲の構成や曲想の変化を感じ取 って歌おう。	2	歌唱1 リズムや音の重なり方の特徴から、曲想の変化を感じ取 って音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【観】【記】 2 リズムや音の重なり方の特徴から、曲想の変化を感じ取りな がら、音楽表現を工夫してどのように歌うかについて思いや意図 をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技 能を身に付けて歌っている。【聴】
4	声部の重なり方の 理解と表現の工夫	・ユニゾンや和声的・多声的な音の重なりによ って生み出される味わいを感じ取り、それぞ れにふさわしい表現を工夫する。	歌唱—ウ	時の旅人	曲の構成と音の重なり方を理解 して表現を工夫しよう。	4	歌唱1 テクスチャ（和声的な重なりや多声的な重なりなど） の特徴を理解して、それにふさわしい音楽表現を工夫して歌う学 習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 テクスチャの特徴を理解して、それにふさわしい音楽表現 を工夫してどのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【観】【記】3 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするため に必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
5				音楽の要素	アレンジ（編曲）の秘密		
			鑑賞—ア	●小フーガ ト短調	声部の重なり方の特徴を聴きと り要素の働きを理解しよう。	2	鑑賞1 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを 理解して聴き、根拠をもって説明するなどして、音楽の良さや美 しさを味わおうとしている。【観】【記】
5	言葉を大切にした 歌唱表現の工夫	・言葉と旋律との関係を理解して表現を工夫す る。	歌唱—ア	浜辺の歌（心の歌）	言葉と旋律の関係を理解して表 現を工夫しよう。	2	歌唱1 言葉と旋律がどのような関係にあるかを理解して、音楽 表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】 【記】 2 言葉と旋律（旋律のリズムやハーモニーなどを含む）がど のような関係にあるかを理解しながら、音楽表現を工夫してど のように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な技 能を身に付けて歌っている。【聴】
6	ア カペラの魅力	・ いろいろな歌声の特徴を知覚し、それらに よる味わいの違いを感じ取る。 ・ 声だけで美しいハーモニーを表現する。	鑑賞—ウ	●ア カペラの合唱曲	ア カペラによる響きの美しさを	3	鑑賞1 歌声の特徴に関心を持ち、それらによる味わいの違いを感じ取 って鑑賞する学習に主体的に取り組もうしている。【観】【記】 4 歌声の特徴を知覚し、それらによる味わいの違いを感じ取って、音楽 のよさや美しさを味わって聴いている。【観】【記】 創作1 ア カペラのハーモニーをつくることに関心を持ち、副次的な旋律 をつくってハーモニーをつける学習に主体的に取り組もうとしている。 【観】【記】 2 ハーモニーを感じ取りながら、どのような副次的な旋律をつくるかにつ いて思いや意図をもっている。【観】【記】
				アメイジング・グレイス	味わおう。		
			創作—ア	音のスケッチ	リズムを作って、ハーモニーをつ けてみよう！		
7	旋律線を生かした 表現の工夫	・旋律線を理解し、楽曲の味わいを感じ取って、 それにふさわしい表現を工夫する。	歌唱—ア	時の旅人	旋律の動きを理解して表現を工 夫しよう。	3	歌唱1 旋律線に関心を持ち、それを生かした音楽表現を工夫し て歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 旋律線を知覚し、その働きが生み出す曲想を感受しながら音 楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっ ている。【観】【記】 3 曲想にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付 けて歌っている。【聴】
				Let`s Try！	指揮を学んで歌に生かそう		



				民謡を歌う。東京の民謡を中心に学習する。	日本の民謡に親しもう。		ながら、曲にふさわしい声で音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 長唄にふさわしい発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】
3	混声合唱へのステップ—さまざまな曲想の表現—	・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す曲想や魅力を生かして表現を工夫する。	歌 唱 — ア ・ イ ・ ウ	卒業式歌・入学式歌・全校合唱 心通う合唱 〔国歌〕 君が代	心を合わせて全校で合唱を作ろう。  斉唱  計	4  4 0	歌唱 1 歌詞の内容や曲想に関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。【観】【記】 2 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。【観】【記】 3 歌詞の内容を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。【聴】